

機械科はものづくりのスペシャリスト～華の機械科～

【知識・技術の伝承と最新技術への挑戦】



機械科で学ぶ専門教科・実習

工業技術基礎	機械実習を行うための、基本的な知識と技術の習得（1年次）
課題研究	生徒が課題を設定し、調査・研究、ものづくりなどに取り組む（3年次）
実習	機械加工、溶接、数値制御などの実習をとおして知識と技術の習得（2・3年次）
製図	基本的な図面の読み方・描き方について学ぶ（1～3年次）
工業情報数理	理数科目やコンピュータに関する知識と活用できる技能を学ぶ
機械工作	金属の性質や加工法などについて学ぶ（1・2年次）
機械設計	機械の構造や動きなどについて学ぶ（2・3年次）
原動機	流体や内燃機関等についての運動や仕組みについて学ぶ（2・3年次）
生産技術	電気やロボットの活用できる技能の知識を学ぶ（3年次）

受験可能な資格取得

技能士（機械加工3級・2級）	作機械の知識や加工技術についての資格（厚生労働省）
技能士（機械検査3級・2級）	工作物の測定を正確にできる能力を持つものを認定する資格（厚生労働省）
技能士（機械保全3級・2級）	工作機械の正常な運転を維持し保全する能力を持つものを認定する資格（日本プラントメンテナンス協会）
ガス溶接技能	ガスを用いる溶接作業を行うことができる資格（厚生労働省）
アーク溶接特別教育	電気放電を用いる溶接作業ができる資格（厚生労働省）
ボイラー技能	ボイラー設備の取扱業務従事ができる資格（厚生労働省）
その他、危険物取扱者、計算技術検定、パソコン利用技術検定、製図検定	

実習等の様子



原動機実習



旋盤実習



特殊機械実習



鍛造実習



課題研究作品



課題研究作品